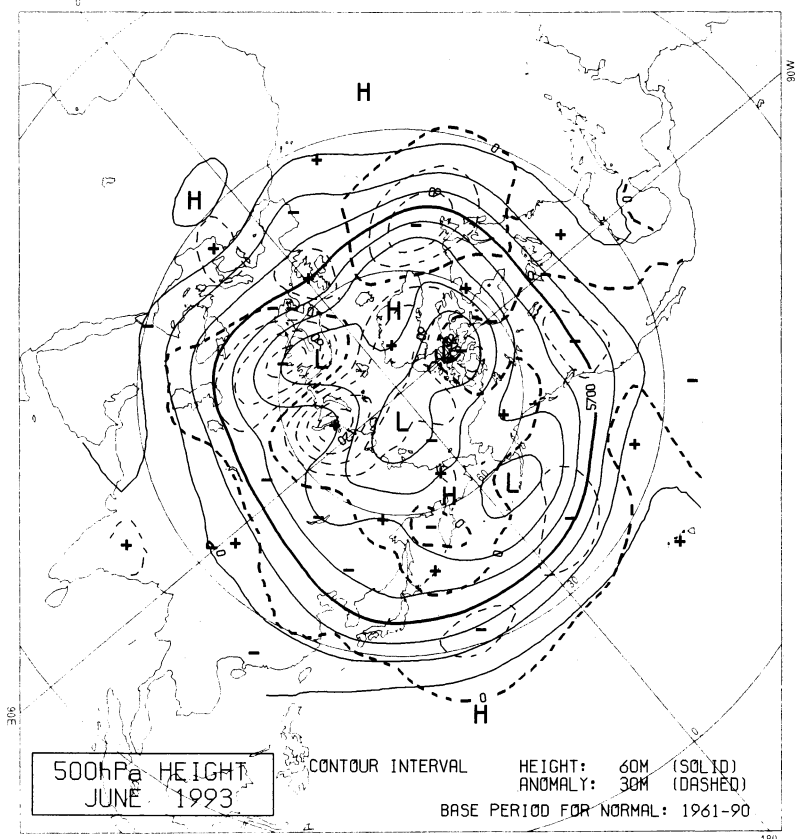


## 1993年6月の大気大循環と世界の天候 月平均 500 hPa 天気図



(破線は平年からの偏差, 単位m)

表 1 1993年6月の気候表

地点名	気温 °C	偏差 °C	DT/SD	降水量 mm	比率 %	降水 階級	地点名	気温 °C	偏差 °C	DT/SD	降水量 mm	比率 %	降水 階級
パリ	17.7	1.3	1.1	64	114	—	カサブランカ	—	—	—	—	—	—
ベルリン	—	—	—	—	—	—	ニオロドサヘル	33.6	0.7	1.0	68	134	4
ローマ	—	—	—	—	—	—	ブレトリア	12.1	1.5	1.1	1	22	4
イスタンブール	21.3	0.4	0.5	33	160	4	バンクーバー	15.8	0.8	0.7	72	159	5
モスクワ	14.0	-2.8	-1.6	121	177	—	ニューオリンズ	26.9	-0.2	-0.2	126	99	4
オデッサ	18.7	-0.7	-0.5	51	121	4	セントルイス	23.9	0.1	0.1	181	192	5
ニューデリー	33.9	0.1	0.1	164	289	5	サンフランシスコ	18.2	2.3	2.3	4	114	4
カルカット	—	—	—	—	—	—	ニューヨーク	22.9	1.2	1.1	43	54	2
ボンベイ	29.7	0.7	1.4	452	77	2	マナウス	—	—	—	—	—	—
ホンコン	27.9	0.2	0.3	452	105	4	サンパウロ	—	—	—	—	—	—
チャンチュン	19.5	-0.5	-0.5	120	132	4	ロサリオ	10.9	0.5	0.3	57	130	4
ベキン	25.4	1.2	1.1	39	50	2	ホノルル	26.8	1.1	1.4	3	20	2
シャンハイ	24.3	—	—	148	—	3	タヒチ	25.3	0.5	1.0	215	348	6
バンコク	30.3	1.2	2.4	149	94	—	ダーウィン	26.2	0.9	0.9	0	0	3
マニラ	29.6	1.2	2.0	34	14	1	キャンベラ	5.7	-0.8	-0.8	25	65	2

## 6月の世界の天候

6月の500 hPa 高度場の特徴は、極域では5月に引き続き正偏差域が多く、中緯度帯では全般に負偏差域が多かった。特に太平洋西部や、スカンジナビア半島からヨーロッパロシアにかけては顕著な負偏差となった。また、太平洋域では、5月までほど顕著ではなかったが負偏差の状態が続いた。

### ①西シベリアの高温

西シベリアでは、ほぼ全域で平均気温が高く、特にウラル地方の北部では月平均気温が平年より8°C以上高いところがあった。

### ②アジア南部の高温

インドシナ半島からフィリピン、インド南西部では高温になり、パキスタンでは熱波のため100人以上の死亡が報じられた。

### ③ヨーロッパ北部の低温

ヨーロッパ北部からヨーロッパロシアでは、広い範囲で月平均気温が平年より2°C前後の低温となり、西シベリアの高温と対照的だった。

### ④アフリカ北西部の高温

アフリカ北西部は高温、サヘル地方などアフリカ西部は少雨傾向だった。

### ⑤アメリカ合衆国の多雨

アメリカ合衆国では、北部の多雨によりミシシッピ川上流部で広範囲の氾濫が起り、農業などに大きな被害があった。また中西部ではトルネード、南部では熱帯低気圧による被害が報じられ、西部も多雨だった。気温は中西部で低温だった。

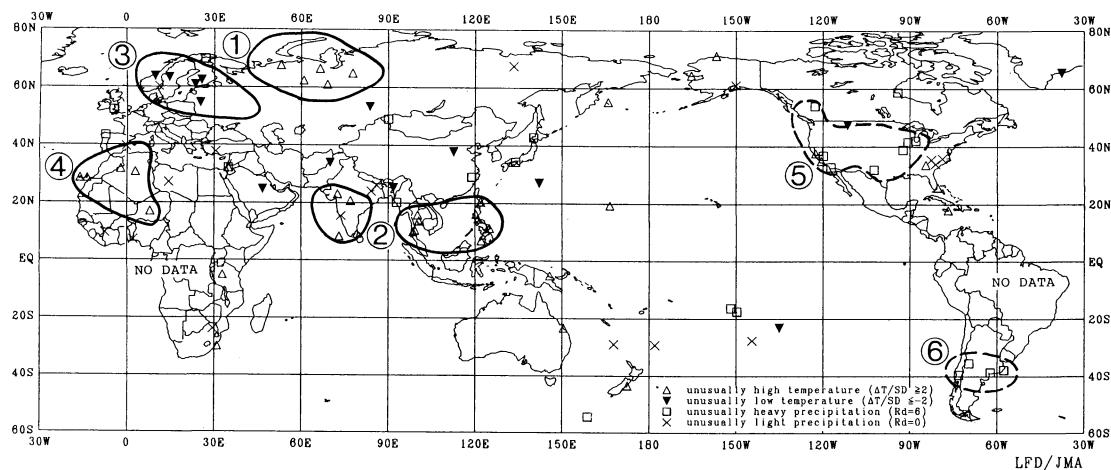
### ⑥アルゼンチンの多雨

アルゼンチン北西部やチリ中部では少雨傾向だったが、アルゼンチン南部からチリ南部、ブラジル南部では多雨だった。

### ⑦その他

東アジアからアジア南部では雨期に入り、中国南東部から日本では多雨となった。その他の地域でも月降水量は多くはないが、韓国や中国南部、スリランカやインド北東部などで大雨による洪水が発生し、バングラデシュでは死者200人以上の被害が報じられた。一方、インド中部やギリシャでは深刻な干ばつとなっており、特にギリシャではこの冬から少雨傾向が続いており今世紀最悪の模様。

(気象庁長期予報課 千葉剛輝)



1993年6月の世界の異常天候分布図  
図中の番号は、本文中の番号と対応している。

△: 高温    ▽: 低温  
□: 多雨    ×: 少雨

1993年6月の気候表の説明。平均値は、1951～1980年のデータに基づくもの。降水階級は五分位値で、0は最小値より小さい場合、6は最大値より大きい場合。500 hPa 高度場の平均値は1961～1990年の30年平均値。